

緊急追加

# 吉田学園特待生試験（第3期）

## 吉田学園特待生試験（第3期） 緊急追加実施について

内 容： 認定ランク（A～C）に応じて初年度授業料の一部を免除いたします。

[認定ランク A:30万円免除、B:10万円免除、C:5万円免除]

募集定員：受験者数の20%以内

試験日：平成22年1月30日（土）

出願期間：（必着）/平成21年11月5日（木）～平成22年1月26日（火）

選考方法：筆記試験 [国語（国語総合古文・漢文は除く）、書類審査]

### 模擬問題の抜粋です

<p>問題一 次の文章を読んで、後の問に答えなさい。</p> <p>イタリア人で何人かの女性たちの話に触発され、イタリア人を日々観察するという環境の中で、私自身、自分のよいところをみつめるといふ発想に少しずつ切り替わっていた。というより、そうせざるを得なかったというのが、a イツワリのないところだ。なにせ「あなたはどのような？」とすぐ聞かれるのである。プティツクでスカート一枚買おうにも、どれが欲しいのか、どうして着たいのか、これでいいのか、これでは嫌か、それはなぜか、と矢継ぎ早に質問される。瞬時に答えるためには、常日頃から「自分はこのようである」とはっきりとした意見を持つていなければ、とてもリタイシヨしきれない。</p> <p>ミラノの女性たちにしても、誰もが美人でb プロポーションがよく、c ファッションセンスにあふれているわけではない。しかし彼女たちの、堂々と自分を表現したいという情熱、その気持ちのc ハツロこそが、ファッションという「手段」を生み、それをd 育ててきたのだと思う。後から追いかけていきたくなるほどの素敵さを生むのは、きっとそうした土壌があるからなのだ。</p> <p>.....</p> <p>問一 傍線部(a)～(f)のカタカナは漢字で、漢字はその読みを平がなで書きなさい。</p> <p>問二 二重傍線部ア～ウの、右の文章の中での意味として最も適当なものを、次の1～6からそれぞれ選んで、番号で答えなさい。</p> <p>1 服装 2 美しさ 3 均整 4 自分の型</p> <p>5 流行 6 美的感覚</p> <p>問六 傍線部 とあるが、筆者の「発想」が「切り替わっていた」のは、イタリアの女性のファッションが、何から生まれていることに気づいたからか。本文中から二つ、それぞれ二十字以内で抜き出して書きなさい。（句読点は一文字に数える。）</p>	<p>問題一 次の文章を読んで、後の問に答えなさい。</p> <p>イタリア人で何人かの女性たちの話に触発され、イタリア人を日々観察するという環境の中で、私自身、自分のよいところをみつめるといふ発想に少しずつ切り替わっていた。というより、そうせざるを得なかったというのが、a イツワリのないところだ。なにせ「あなたはどのような？」とすぐ聞かれるのである。プティツクでスカート一枚買おうにも、どれが欲しいのか、どうして着たいのか、これでいいのか、これでは嫌か、それはなぜか、と矢継ぎ早に質問される。瞬時に答えるためには、常日頃から「自分はこのようである」とはっきりとした意見を持つていなければ、とてもリタイシヨしきれない。</p> <p>ミラノの女性たちにしても、誰もが美人でb プロポーションがよく、c ファッションセンスにあふれているわけではない。しかし彼女たちの、堂々と自分を表現したいという情熱、その気持ちのc ハツロこそが、ファッションという「手段」を生み、それをd 育ててきたのだと思う。後から追いかけていきたくなるほどの素敵さを生むのは、きっとそうした土壌があるからなのだ。</p> <p>.....</p> <p>問一 傍線部(a)～(f)のカタカナは漢字で、漢字はその読みを平がなで書きなさい。</p> <p>問二 二重傍線部ア～ウの、右の文章の中での意味として最も適当なものを、次の1～6からそれぞれ選んで、番号で答えなさい。</p> <p>1 服装 2 美しさ 3 均整 4 自分の型</p> <p>5 流行 6 美的感覚</p> <p>問六 傍線部 とあるが、筆者の「発想」が「切り替わっていた」のは、イタリアの女性のファッションが、何から生まれていることに気づいたからか。本文中から二つ、それぞれ二十字以内で抜き出して書きなさい。（句読点は一文字に数える。）</p>
---	---

出願をお考えの方は、ぜひ特待生試験の受験もご検討下さい。



日本小動物獣医師会認定校

日本愛玩動物協会認定制度採用校

## 吉田学園動物看護専門学校

動物たちとの「絆」を紡ぎ、小さな命に真剣に向き合う動物看護師・トリマーを養成

オープンキャンパス、学校見学などの詳細はお気軽に入学相談室にお問い合わせください。

吉田学園入学相談室

0120-607033

public@yoshida-g.ac.jp

担当：熊谷